

解答プリント「中学2年理科・第2分野」

■発展プリント

16 動物のなかま, 生物の変遷と進化

【評価の観点】 ㊦：思考・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>1 ㊨ (1) 背骨があるかないか</p> <p>㊨ (2)⑥ 恒温動物である</p> <p>㊨ ⑦ 変温動物である</p> <p>㊦ (3) ③のグループは親が肺で呼吸するが、メダカは一生えらで呼吸するから</p>	<p>1 ①：脊椎動物（背骨がある）</p> <p>②：無脊椎動物（背骨がない）</p> <p>③：親は肺で呼吸する</p> <p>④：胎生（雌が子を体内である程度育ててからうむ）</p> <p>⑤：卵生（卵をうんでなかまをふやす）</p> <p>⑥：恒温動物である</p> <p>⑦：変温動物である</p>
<p>2 ㊦ コウモリ：つばさのような形をしており、はばたくのに適している</p> <p>㊦ クジラ：オールのような形をしており、水をかくのに適している</p>	<p>2 コウモリのつばさとクジラのひれは相同器官である。コウモリもクジラも哺乳類であり、つばさとひれの骨格は似ている。</p> <p>コウモリの前あしは、指と指の間に飛膜と呼ばれる伸縮性のある膜があり、鳥類のように、空を飛ぶことができる。</p> <p>クジラの前あしは、魚類の胸びれのような形をしており、海で泳ぐのに適した形になっている。</p>
<p>3 ㊦ アメリカザリガニは、あしが10本ある、体が頭胸部と腹部に分かれている、はねがない</p>	<p>3 節足動物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫類 <ul style="list-style-type: none"> 頭部（目、口、触角がある） 胸部（3対のあし、2対のはね） 腹部（呼吸器官である気門、生殖器官などがある） ・甲殻類 <ul style="list-style-type: none"> エビ、カニ、ミジンコ、ダンゴムシ等 頭部・胸部・腹部（頭胸部・腹部）に分かれている。 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> あしは昆虫類よりも多い。